

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和4年度「第2回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和5年3月29日(火) 午後1時半から午後2時半まで			
開催場所	墨田区役所9階91会議室			
出席者数 (19人)	<p>【外部委員】渡邊清高、五嶋孝博、都野晋一、鴨川大助、武井和彦、桜井なおみ、佐藤文子、駒場誠弥、高木恒子、風間利昭(敬称略)(計10人)</p> <p>【内部委員】保健衛生担当次長、向島保健センター所長、保健予防課長(計3人)</p> <p>【事務局】保健計画課長、保健計画課健康推進担当主査2人、保健計画課健康推進担当主事2人(計5人)</p>			
	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
	非公開(傍聴できない)			
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 各専門部会の報告について</p> <p>(2) 令和4年度のその他の取組の報告について</p> <p>(3) 令和5年度のがん対策推進会議と専門部会について</p> <p>(4) その他</p> <p>3 閉会</p>			
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <p>1 令和4年度「墨田区がん対策推進会議」委員名簿</p> <p>2 - 1 令和4年度「がん検診精度管理部会」の報告</p> <p>2 - 2 令和4年度「たばこ対策部会」の報告</p> <p>3 墨田区の受動喫煙対策のための取組方針</p> <p>4 令和4年度 がん対策事業の実施状況</p> <p>5 令和5年度「墨田区がん対策推進会議」の概要(案)</p> <p>6 令和5年度「がん検診精度管理部会」の概要(案)</p> <p>7 ご意見・ご質問シート</p>			

<p>会 議 概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 各専門部会の報告について</p> <p style="padding-left: 2em;">がん検診精度管理部会について資料2 - 1に基づき、事務局より説明。</p> <p><b>【意見・質問等】</b></p> <p>渡邊会長：都野委員は精度管理部会の委員でもあるが、委員として何か補足はあるか。</p> <p>都野委員：検診に携わる全員の努力もあり、令和4年度の精度管理評価項目はB評価で、評価が上がっている。胃がん内視鏡検査の受診者数は、コロナの影響で、令和2年度の前期は検診自体を中止としたため、令和4年度の前期は継続受診を促す勧奨ができなかった。そのこともあり、受診者数は少なかった。ただ、4年度の後期は感触として受診者が多くなっていると感じる。がん検診の受診率の低迷が課題になっているので、医療機関に来た患者にがん検診の有用性を話しているが、より一層力を入れてやっていきたい。</p> <p>渡邊委員：受診率の向上と精度管理の充実の両輪は大事な問題だと考えている。この2つのテーマについて何かご意見等はあるか。</p> <p>風間委員：検査の内容の充実と期間の延長、チラシの一覧表で制度の説明をするのはよいのではないか。自分自身も地域の医療機関にかかるようになったが、がん検診のチラシがたくさん置いてある。私自身、今までは病院に行くことがなかったのでチラシを見たことがなく、会社の健康診断で情報を見るしかなかったが、地域の医療機関にチラシが置いてあったり、個人個人へ情報が郵送されるアプローチはとても良いと思う。</p> <p style="padding-left: 2em;">たばこ対策部会について資料2 - 2に基づき、事務局より説明。</p> <p><b>【意見・質問等】</b></p> <p>渡邊会長：本所歯科医師会の武井委員に歯科医師として、たばこ対策の観点から、受動喫煙防止のための取り組み方針について伺いたい。</p> <p>武井委員：禁煙の意思なしの方を減らしていくことが大事。ほとんどの医療機関では禁煙となっている。しかし、喫煙者は場所を見つけたり、抜け道を見つけたりして喫煙をしようとする。アウトラインができていますが、細かなところを詰めていくことが大事だと感じる。</p> <p>渡邊会長：向島歯科医師会の鴨川委員に歯科医師として意見があるか伺いたい。</p> <p>鴨川委員：禁煙については成人歯科健診時にも話をすることはできる。しかし、高齢の喫煙者は禁煙をする気がないように感じる。女性は妊娠を考えて禁煙を検討する方がいる。歩きたばこは以前に比べたら全く見なくなると感じる。</p>
----------------	--

(2) 令和4年度のその他の取組の報告について

個別目標1・2に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

渡邊会長：民生委員の高木委員に、区民の目線から受診率向上の取組についてどういったことが考えられるか伺いたい。

高木委員：団塊の世代は医者にかからない方が多い。薬局にも健康相談ができると書いてあるところがある。薬局であれば医療機関よりも相談のハードルが下がると思うので勧めたいと思うが、効果がある方法なのか。

渡邊会長：色々なチャネルで相談できることはとてもいいと思う。

事務局：かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つことは大事なことだと考えている。

高木委員：病院とつなげるのが大変な方もいるので、検討してみたいと思う。

岩瀬委員：コロナに関連してくるが、症状がある方に無料で検査キットを配布している薬局もある。その効果で今まで薬局に来なかった層も立ち寄ってくれている。薬剤師会としては、そのような取り組みもしているので是非気軽に行っていただきたい。薬剤師会にも伝えておく。

個別目標3・4に基づき、事務局より説明。

【意見・質問等】

桜井委員：がん教育に関して、墨田区は先進的に取り組んでいると感じる。次以降も計画的に取り組んでいただきたい。アピアランスケアについては東京都が10万円以上のウィッグを購入した際、10万円の補助を2回行うと聞いている。しかし、10万円を出せる家庭は裕福な家庭なので、区では安価なウィッグを購入する家庭のことを考えていただいて、少額でもサポートできる制度設計をしていただきたい。

また、AYA世代の方たちは保険適用内治療でも治療を諦めているという現状もある。世田谷区等ではAYA世代の在宅療養が進んでいる。墨田区は在宅医療が進んでいる区なので、ぜひ検討していただきたい。

渡邊会長：墨東病院の五嶋委員にがん支援相談センターとして区との連携などの面でどのような取り組みができるか伺いたい。

五嶋委員：墨東病院では連携支援室を改修して、様々なことができるようになった。具体的に何をするか現在検討中のため、また報告したい。

渡邊会長：賛育会病院の駒場委員にがん在宅緩和ケアやアピアランスケアについて伺いたい。

駒場委員：在宅緩和ケアを申込み希望の方がいたが、費用面等具体的な部分を説明しきれなかった。4月以降は体制を整えて継続して事業をおこなっていききたい。他職種との関連の面では墨田区薬剤師会向けに緩和ケアの講演会を行った。医者・看護師・薬剤師等様々な職種の連携が必要になっていくと考えているので、これからも取り組んでいきたい。

(3) 令和5年度のがん対策推進会議と専門部会について  
資料5・6に基づき、事務局より説明

【意見・質問等】

渡邊会長：専門部会について、資料のとおり承認いただきたいがよろしいか。

－ 同：承認する。

渡邊会長：佐藤委員から全体を振り返って意見を伺いたい。

佐藤委員：がんについて、子供から意見を言われるのが親としては1番響く。子供  
経由でがん検診の啓発等のステップを作っていたきたい。

また、自身は乳がんを患ったことがあり、補整下着を購入した。金額が  
非常に高いので補助をしていただけるとありがたい。また、周りの友人  
からはウィッグが高いという話も聞いているので、ウィッグの補助も  
あると助かる区民はいると感じる。

3 閉会

---

会議の概要は以上である。

所 管 課

福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 (内線 3532)